



# 歴史から学び、 今を変える



現代においても、世界各地で人権侵害が絶え間なく起こっています。多くの国々がいまだに民主と自由を求め続けています。けれども民主主義の国であっても、見過ごされてしまうような人権侵害が絶え間なく起こっており、関心を寄せ続けることが必要です。科学技術の発展により、さまざまな人権問題についての情報を容易に取得できるようになりましたが、必要なのは、声を上げ変化のための行動を起こすことです。

白色テロ時代、人権に関心を持つ海外の人々の協力がなければ、今日の台湾の自由と民主主義は実現し得なかったといえます。依然として世界各国には、人権侵害の問題が数多く存在します。私たちも先駆者たちのように、助けを必要とする人々に手を差し伸べ、積極的に行動を起こすことによって、現状を変えることができるのです。



2019年に国際人権博物館連盟のアジア太平洋支部 (FIHRM-AP) が台湾に設置されました。FIHRM-APのミッションとその責任は、国家人権博物館が担っています。日本からは、部落問題と闘った水平社運動の歴史をたどる水平社博物館が加盟しています。人権問題に関心がある団体はぜひFIHRM-APへご加盟ください。アジア太平洋地域で連携し、人権という普遍的価値の共有、推進に努めていきましょう。

